

特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ ACT/IPS センター 2008年度 連続講座のお知らせ 地域中心の精神保健医療福祉

～ ACT (包括型地域生活支援プログラム) /IPS (個別就労支援プログラム) の支援技術・要素を学ぶ～

【開催日】

第1回 平成20年9月27日(土) 第2回 10月18日(土) 第3回 11月16日(日)
第4回 平成21年1月17日(土) 第5回 3月14日(土)

【会場】大塚製菓株式会社 〒108-8242 東京都港区港南 2-16-4
品川グランドセントラルタワー JR品川駅南口から徒歩5分

【定員】50名

【参加費】5回連続 コンボ非会員:35,000円 コンボ会員:30,000円 当事者・家族:20,000円
個別参加 コンボ非会員:8,000円 コンボ会員:7,000円 当事者・家族:5,000円
受講された方には、修了証を差し上げます。

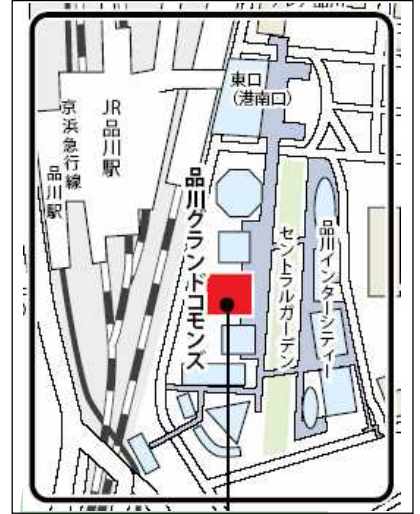
【お申し込み方法】

お名前・ご所属・職種・ご連絡先(お電話番号・メールアドレス) 個別参加の場合はどの回に参加されるのかを明記の上、actipscenter@gmail.comまでお送りください。また、申込用紙をご利用いただき、FAX(047-320-3871)していただいても結構です。

申し込み受付後、参加費のお振込み方法等についてご連絡させていただきます。

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構・コンボ ACT/IPSセンター
TEL: 047-320-3873 FAX: 047-320-3871 E-mail: actipscenter@gmail.com
担当: 久永文恵・香田真希子



コンボ会員になると各種研修の割引に加え、「このころの元気+(月刊誌)」が毎月お手元に届きますので、この機会に是非会員登録をお勧めします。詳しくは <http://comhbo.net> をご覧下さい。

【プログラム】

第1回 平成20年9月27日(土)

10:30~12:30	ACT入門	足立千啓(訪問看護ステーションACT-J) 佐竹直子(国際医療センター国府台病院) 英一也(国立精神・神経センター精神保健研究所)
13:30~14:30	私のリカバリー体験	Wrap in Ichikawa: らっぴん メンバー
14:45~16:45	リカバリーとWRAP	Wrap in Ichikawa: らっぴん 久永文恵(特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構・コンボ/らっぴん)
16:45~17:30	クロージング	

第2回 平成20年10月18日(土)

10:30~12:30	IPS入門	香田真希子(特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構・コンボ/IPS-J) 津田祥子(訪問看護ステーションACT-J/IPS-J)
13:30~14:30	私のリカバリー体験	IPS-J利用者・企業
14:45~16:45	IPSワークショップ	伊藤順一郎(国立精神・神経センター精神保健研究所) 香田真希子(特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構・コンボ/IPS-J)
16:45~17:30	クロージング	

第3回 平成20年11月16日(日)

10:30~12:30	本人の希望を引き出す面接技術	遊佐安一郎(長谷川病院)
13:30~14:30	私のリカバリー体験	当事者・支援者
14:45~16:45	ヘルピングスキルワークショップ	遊佐安一郎(長谷川病院) 香田真希子(特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構・コンボ/IPS-J)
16:45~17:30	クロージング	

第4回 平成21年1月17日(土)

10:30~12:30	ストレングスモデル&ケアマネジメント	佐藤光正(駒澤大学)
13:30~14:30	私のリカバリー体験	宇田川健(特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構・コンボ)
14:45~16:45	現場で使える就労支援	相澤欽一(独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 障害者職業総合センター)
16:45~17:30	クロージング	

第5回 平成21年3月14日(土)

10:30~12:30	家族支援	伊藤順一郎(国立精神・神経センター精神保健研究所) 梁田英磨(東北福祉大学) 久永文恵(特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構・コンボ)
13:30~14:30	私のリカバリー体験	家族
14:45~16:45	家族支援のワークショップ	伊藤順一郎(国立精神・神経センター精神保健研究所) 梁田英磨(東北福祉大学) 久永文恵(特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構・コンボ)
16:45~17:30	クロージング	

【連続講座 シラバス】

1. ACT 入門/リカバリーと WRAP キーワード：ACT リカバリー WRAP アウトリーチ

リカバリーの概念に触れ、ACT 初心者から実践者など様々な立場を超えて、改めて ACT の概念や支援技術から、臨床実践に活かす戦略を考えます。また、近年注目を集めつつある、当事者が開発したリカバリーを大切にしているアプローチである WRAP（元気回復行動プラン）を体験します。

2. 希望を叶える就労支援プログラム IPS キーワード：IPS 就労支援 リカバリー

IPS (Individual Placement and Support : 以下 IPS) とは、米国で 1990 年代前半に開発された就労支援モデルであり、数多くの無作為化比較研究が行われ、一般就労率の向上などの有効性が実証されており、近年注目されている科学的根拠に基づく実践 (EBP : Evidence Based Practice、以下 EBP) のひとつです。本人の「働きたい」という希望を叶えるための就労支援の概念や具体的なスキルを学びます。

3. 本人の希望を引き出す面接技術 キーワード：ヘルピングスキル 面接技術 プランニング

「ヘルピングスキル」とは、理論的アプローチの違いを超えて適用できる面接技術です。クライアントにとって、自分のペースや希望を尊重してくれない援助者の性急過ぎるアプローチは受け入れがたいものですし、逆に変化のためのアクションを実施する意欲が高まっているのになんの提案もしてくれない援助者にも失望したりします。「ヘルピングスキル」を活用して、本人の希望を引き出す面接の支援技術を学びます。

4. ストレングスモデル&ケアマネジメント/現場で使える就労支援 キーワード：ストレングス ケアマネジメント/ 雇用支援 支援技術

ACT や IPS におけるアセスメントは、利用者の持っている力や可能性に焦点を当てたものであるべきです。その基礎となるストレングスモデルについて学び、それをケアマネジメントのプロセスにおいてどう取り入れるのかについて学びます。

職業生活は「本人」の要素だけでなく、受け入れる「企業」の体制と「支援」側の働きかけ方によって、雇用の可能性は大きく違ってきます。ここでは、就労支援を実施する支援者に求められる姿勢と現場で使える支援技術について学びます。

5. 家族支援 キーワード：家族支援 アウトリーチ 希望

アウトリーチ、すなわち家族の生活の場に訪問しての家族支援は、いわばアウェイで行なう家族支援です。未知の場所ではありますが、そこは家族の生活の場です。私たちは、生活の場にあわせた、家族の希望につながる支援のあり方について、理論と実践の両面から検討したいと思います。アウェイであるがゆえに必要な技術、直接の生活の改善をも企画するサービスであるが故の技術など、家族への支援という文脈で考えてみましょう。

【お申し込み】

特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ ACT/IPS センター 宛 FAX : 047 - 320 - 3871

お名前	コンボ会員 非会員 当事者・家族		
ご所属	職種		
ご住所	自宅	勤務先	
	〒		
電話番号	FAX 番号		
メールアドレス			
ご希望の連絡方法	電話	FAX	e-mail
お申し込み内容			
参加形態	5 回連続参加 個別参加		
ご希望の講座	第 1 回 (2008 年 9 月 27 日) 第 2 回 (2008 年 10 月 18 日) 第 3 回 (2008 年 11 月 16 日) 第 4 回 (2009 年 1 月 17 日) 第 5 回 (2009 年 3 月 14 日) 複数回お申し込みいただいても結構です		

お申し込みいただきましたらこちらからご連絡を差し上げ、参加費のお振込み方法等についてお知らせいたします。また、参加者は定員になり次第締め切らせていただきます。